

令和 7 年度 歯科衛生士活動推進事業のお知らせ

日本歯科衛生士会歯科衛生推進委員会では、それぞれの現場で活躍する歯科衛生士が集い、同じ目的を持った仲間との情報交換や知識の共有、交流を図る機会を企画しました。

歯科衛生士たちのタッチポイントとなるこの機会に、ぜひともご参加ください！

目 的	保健医療福祉の動向に伴う歯科保健医療ニーズの変化に対応し、効果的な歯科衛生活動を実践するため、それぞれの分野で活躍する歯科衛生士への知識の提供、情報共有および交流を図り、歯科衛生士の活動を推進する
共 催	公益社団法人日本歯科衛生士会・東京科学大学病院歯科衛生士総合研修センター
日 時	令和 7 年11月 1 日(土)13:30~16:30
会 場	東京科学大学湯島キャンパス(東京都文京区湯島 1-5-45)
参加対象者	行政・病院・診療所・在宅施設等に勤務する歯科衛生士
担当委員会	地域歯科保健委員会・病院委員会・診療所委員会・在宅施設口腔健康管理委員会

プログラム(予定)

時 間	内 容			
13:00	受付開始			
13:30 ~14:30	講演「歯科保健医療の動向(仮)」 講師 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小嶺祐子氏 (会場:3 号館 3 階 医学科講義室 2)			
14:30~ 14:50	休 憩(会場移動)			
14:50~ 16:30	各委員会主催プログラム(グループワーク・協議会・交流会等) *プログラム内容調整中			
	地域歯科保健委員会 【グループワーク】 (定員:50 名)	病院委員会 【全国病院歯科衛生士 連絡協議会】 (定員:50 名)	診療所委員会 【交流会】 (定員:30 名)	在宅・施設 口腔健康管理委員会 【交流会】 (定員:50 名)
	会場:3 号館 18 階 保健衛生学科講義室1	会場:3 号館 8 階 保健衛生学科講義室 2	会場:3 号館 8 階 保健衛生学科講義室 3	会場:3 号館 7 階 保健衛生学科講義室 4
	テーマ「わがまちの歯 科保健医療を考える ~10 年後を見据えて 今何ができるか~」 【別紙 2】	テーマ「病院における 歯科衛生士の役割」 【別途ご案内】	テーマ「目指せ専門歯 科衛生士! 歯周基本 治療管理ラダー(仮) の活用」 【別紙3】	テーマ「施設における 口腔健康管理を担う 歯科衛生士の役割」 【別紙4】
16:30	終 了			

参加申し込みについては、日本歯科衛生士会ウェブサイトにてご確認ください。皆様の参加をお待ちしております。

地域歯科保健委員会(定員 50 名)

令和7年度行政歯科衛生士研修(講話・グループワーク)

テーマ「わがまちの歯科保健医療を考える

～10 年後を見据えて今何ができるか～」

対象者 行政に勤務する歯科衛生士等

申込 URL <https://jdha-chiiki1101.peatix.com>



病院委員会(定員 50 名)

令和 7 年度全国病院歯科衛生士連絡協議会

テーマ「病院における歯科衛生士の役割」

申込 URL <https://forms.gle/1wsMN2BVNXDLV2Vt8>

＊詳細は別途送付されている全国病院歯科衛生士連絡協議会の開催案内
および実施要領をご確認ください。



診療所委員会(定員 30 名)

テーマ「目指せ専門歯科衛生士！歯周基本治療ラダーの活用」

申込 URL <https://forms.gle/sLhJw47SsTCnwBFz7>



在宅・施設口腔健康管理委員会(定員 50 名)

テーマ「施設における口腔健康管理を担う歯科衛生士の役割」

申込み URL <https://jdha-zaitakusisetu1101.peatix.com>



令和7年度行政歯科衛生士研修開催要領

1 目 的

令和6年3月に「地方公共団体における歯科保健医療業務指針」として27年ぶりに指針が改定され、歯科保健業務に加え、医療と介護の連携体制の構築、障害者への対応、災害・新興感染症等の有事への対応も含め、歯科医療提供体制の確保に関する多種多様な対応が自治体に求められている。

そこで、都道府県及び市区町村における歯科保健医療業務を推進していくうえでの課題や取組方針のあり方等について検討・共有するとともに、推進の中心となる行政歯科衛生士の今後の役割について、各地域の実情をふまえた検討を行うことで、地方自治体における歯科保健医療の取組推進に寄与することを目的とする。

2 主 催 公益社団法人日本歯科衛生士会 地域歯科保健委員会

3 日時及び場所

- ・日時 令和7年11月1日（土）午後1時30分から午後4時30分まで
- ・場所 東京科学大学湯島キャンパス 3号館
（合同講演：3号館3階 医学科講義室2）
（行政歯科衛生士研修：3号館18階保健衛生学科講義室1）

4 対象者 行政に勤務する歯科衛生士等

5 定 員 50名

6 参加費 無料

7 内容及びスケジュール

13:00～	受付開始
13:30～14:30	合同講演「歯科保健医療の動向（仮）」 講師 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小嶺祐子先生
14:30～14:50	休憩（会場移動）
14:50	令和7年度行政歯科衛生士研修開会・挨拶 長委員長
14:55	講話 小嶺課長「10年後の歯科保健医療を考える」
15:25～16:20	グループワーク 「10年後のわが町の歯科保健医療を見据えて、今、何をするのか」
16:20	まとめ
16:30	終了

6 その他

- ・ 参加費無料
- ・ 参加申込及び事前アンケート：Peatixを活用（申込期限：9月5日）
- ・ 同時に申込を受けるが、会員を優先し、会員外は空き枠にて受講可能とする。
- ・ 開催報告：歯科衛生士会及び行歯会だより
- ・ 通知先：各都道府県会、各都道府県・保健所設置市・特別区衛生主管部（局）

令和7年度 全国病院歯科衛生士連絡協議会 実施要領

1 目的

本協議会では、病院に勤務する歯科衛生士が、多職種連携や地域連携における知識・技能の習得及び最新の情報の共有化を図り的確に対応することを目的として開催する。

2 開催趣旨

近年、周術期等口腔機能管理などの広がりや、チーム医療のなかでの歯科衛生士の重要性が医科に知られるようになり、病院に勤務する歯科衛生士は年々増加しています。今まで『病院＝口腔外科』というイメージがありましたが、現在では歯科標榜のない病院にも歯科衛生士が勤務することも増え、ひとくくりに『病院歯科衛生士』といっても、病院の形態により勤務する歯科衛生士の業務内容は様々です。また、歯科標榜のない病院では、少人数で勤務している場合も多く、悩みや問題を一人で抱えている場合も少なくありません。

今回の協議会では、病院形態の異なる歯科衛生士から業務に関するレクチャーを行い、病院歯科衛生士の役割を再確認するとともに、お互いの問題点や悩みを共有しつつ、情報交換し合う場を提供したいと考えています。

併せて、厚生労働省医政局歯科保健課長小嶺祐子先生からのご講演をいただき、国が考える歯科保健医療の動向を直接お伺いできる貴重な機会を皆様と共有し、歯科衛生士の連携を推進していきたいと思います。

3 開催日時

令和7年11月1日（土）13：30～16：30

4 開催場所

東京科学大学湯島キャンパス 3号館

5 開催方法

歯科衛生士活動推進事業

6 実施主体

公益社団法人日本歯科衛生士会（担当：病院委員会）

7 参加対象者

都道府県歯科衛生士会の病院歯科衛生士担当者および趣旨に賛同する歯科衛生士

8 プログラム

13:00～	受付開始
13:30～14:30	講演「歯科保健医療の動向（仮） 講師 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小嶺祐子先生 （会場：3号館3階 医学科講義室2）
14:30～14:50	休憩（会場移動）
14:50～16:30	テーマ：病院における歯科衛生士の役割 （会場：3号館8階 保健衛生学科講義室2） 急性期病院・回復期リハ病院・歯科標榜のない病院など様々な病院で活躍する 5名の歯科衛生士からミニレクチャー 情報交換会

令和7年度歯科衛生士活動推進事業 診療所歯科衛生士交流会実施要領

1 目的

診療所に勤務する歯科衛生士が専門歯科衛生士を目指すために現在の自分の立ち位置を確認し、次に進むには何が必要なのかを「歯周基本治療ラダー(仮)」の活用を通して考え、交流を図り歯科衛生士の活動を推進する。

2 開催日時

令和7年11月1日(土) 13:30～16:30

3 開催場所

東京科学大学湯島キャンパス3号館(東京都文京区湯島1-5-45)

(合同講演:3号館3階 医学科講義室2)

(診療所歯科衛生士交流会:3号館8階保健衛生学科講義室3)

4 参加対象者

診療所等に勤務する歯科衛生士

5 参加定員

30名(事前申込:定員に達し次第申込終了)

6 参加料

無 料

7 実施主体

公益社団法人日本歯科衛生士会(担当:診療所委員会)

東京科学大学病院歯科衛生士総合研修センター

8 プログラム(予定)

時間	内 容
13:00～	受付開始
13:30～14:30	【(4委員会合同)講演】「歯科保健医療の動向(仮)」 講師 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小嶺祐子先生 会場:3号館3階 医学科講義室2
14:30～14:50	休憩(会場移動)
14:50～16:30	【診療所委員会交流会】 会場:3号館8階保健衛生学科講義室3 テーマ「目指せ専門歯科衛生士!歯周基本治療ラダー(仮称)の活用」 ➤ 専門歯科衛生士制度の確立を目指して ➤ 歯周基本治療ラダー(仮称)の活用について ➤ ディスカッション・意見交換
16:30	終了

令和7年度歯科衛生士活動推進事業 在宅・施設口腔健康管理委員会交流会
実施要領

1 目 的

在宅や施設で口腔健康管理に携わる歯科衛生士が情報交換などの交流をもつことにより地域を越えたつながりをもち、多職種との連携強化を図っていく。

2 開催日時

令和7年11月1日(土) 13:30～16:30

3 開催場所

東京科学大学湯島キャンパス3号館(東京都文京区湯島1-5-45)

(合同講演:3号館3階 医学科講義室2)

(在宅・施設口腔健康管理委員会交流会:3号館7階 保健衛生学科講義室4)

4 参加対象者

在宅や施設で勤務、活動する歯科衛生士

5 参加定員

50名(事前申込:定員に達し次第申込終了)

6 参加料

無 料

7 実施主体

公益社団法人日本歯科衛生士会(担当:在宅・施設口腔健康管理委員会)

東京科学大学病院歯科衛生士総合研修センター

8 プログラム(予定)

時間	内 容
13:00～	受付開始
13:30～14:30	【(4委員会合同)講演】「歯科保健医療の動向(仮)」 講師 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小嶺祐子先生 会場:3号館3階 医学科講義室2
14:30～14:50	休憩(会場移動)
14:50～16:30	【在宅・施設口腔健康管理委員会交流会】 会場:3号館7階保健衛生学科講義室4 *情報提供 「令和6年度介護保険改正後の歯科の関わり」 ～歯科衛生士!活躍中～ *グループワーク テーマ「施設における口腔健康管理を担う歯科衛生士の役割」 *発表、まとめ
16:30	終了